

令和6年5月吉日

地域保健福祉関係機関の長 様
産業保健分野関係機関の長 様
学校保健分野関係機関の長 様
保健師教育機関教育担当者 様

第13回日本公衆衛生看護学会学術集会
学術集会会長 坂本 真理子
学術集会副会長 岡本 理恵



第13回日本公衆衛生看護学会学術集会のご案内

この度、第13回日本公衆衛生看護学会学術集会をウインクあいち（愛知県産業労働センター）および一部オンラインにて開催させていただくことになりました。

私たちは、これまで相次ぐ自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応を始めとする未曾有の健康危機を経験し、苦難に立ち向かい続けてきました。その月日は、過重な業務負担、本来の公衆衛生看護活動に思う存分取り組めないジレンマ、既存のシステムでは対応しきれない多くの課題の存在等、ともすれば厳しい現実疲労困憊する日々でした。一方で、地域住民の力や多様な支援者による目覚ましい活躍に、人々の健康はみんなで支え合い創っていくことを実感する機会であったと思います。

以上のような背景から、本学術集会のテーマは「多様なパートナーとともに未来を創る公衆衛生看護」といたしました。公衆衛生看護には自らの専門性を発揮しつつ、地域住民や当事者、多様なパートナーたちとともに、新しい未来を創っていく使命があります。

本学術集会では、これからも私たちが多様な健康課題にしなやかに立ち向かい、希望する未来を創るため、多様なパートナーたちとつながり、知恵を出し合う機会としたいと考えています。多様性と協働を通じて、改めて、公衆衛生看護の面白さや更なる可能性を発見することにもつながる学術集会プログラムを準備しております。第12回学術集会で大変好評でした住民サミットは、本学術集会でも引き続き開催いたします。本学術集会でも、地域住民のパワーを再認識する機会となることでしょう。

貴機関所属の保健師ならびに関係者の皆様の当学術集会へのご参加につきましてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 会期： 2025年1月4日(土)～5日(日) 現地開催
(オンデマンド配信 2月9日(日)まで)
2. 会場： ウインクあいち（愛知県産業労働センター）
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
及び Web（ハイブリッド開催）
3. プログラム：
会長講演、基調講演、特別講演、公衆衛生看護セミナー、シンポジウム、
パネルディスカッション、特別企画、拡大市民公開講座（住民サミット）、
特別企画、共催セミナー、企業展示、一般演題、ワークショップ等

以上